

案件概要表（草の根技術協力型地域活性化特別枠）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	パラオ共和国
2. 事業名	パラオ国ガッパン州イボバン、アイメリーク州モンガミにおける官民協働ごみゼロ社会推進事業（地域活性化特別枠）
3. 事業の背景と必要性	パラオ共和国のアイメリーク州に新最終処分場が建設されたことに伴い、バベルダオブ島では新最終処分場の運用に向けたごみの分別とリサイクルの推進が大きな課題となっている。これらの課題解決に向け、地域に根ざした活動を通じ、新たなごみ処理体制構築の支援を行う必要がある。
4. プロジェクト目標	対象地域において新規に建設される廃棄物処分場の有効活用に向けて住民が排出する廃棄物が適切に分別・リサイクルされるようになる。
5. 対象地域	バベルダオブ島内の2箇所（ガッパン州イボバン及びアイメリーク州モンガミ）
6. 本事業の対象となる人々（ターゲットグループ）	約350人：公共基盤・産業・商業省 公共事業局（BPW-MPIIC）15名、現地廃棄物担当者10名、対象地域住民（ガッパン州イボバン及びアイメリーク州モンガミ）200名、高校生・教員100名
7. 事業活動	<p><成果></p> <p>1：地域に合わせた廃棄物の分別・リサイクル推進計画が検討され、策定される。</p> <p>2：対象地域で廃棄物の適切な分別・リサイクル実施体制が整う。</p> <p>3：住民の廃棄物分別・リサイクルに対する意識が高まる。</p> <p><活動></p> <p>活動1. 地域に合わせた廃棄物の分別・リサイクル推進計画が策定される</p> <p>1-1：対象地域における廃棄物分別及びリサイクル状況のベースライン調査を実施する。</p> <p>1-2：廃棄物関係者と対象地域住民代表からなる「ごみゼロ社会推進協議会＝WORKING TEAM（以下『W/T』）」を立ち上げる。</p> <p>1-3：カウンターパート（以下「C/P」とW/Tに対して事業の説明会を実施する。</p> <p>1-4：循環型社会の知識と実情、官民協働の方法を学ぶための本邦研修を行う（1回目）。</p> <p>1-5：事業を自ら継続するための「分別・リサイクル推進計画 *2」策定方法を指導する。</p> <p>1-6：廃棄物処理に関する日本の行政や法体系を学び分別・リサイクル推進計画案を作成するための本邦研修を行う（2回目）。</p> <p>活動2. 対象地域で廃棄物の適切な分別・リサイクル実施体制が整う</p> <p>2-1：地域で有価物（CDL）以外の廃棄物分別品目を決定する。</p> <p>2-2：地域でリサイクルステーションを設置する。</p> <p>2-3：住民集会で廃棄物分別回収について評価と改善を行う。</p> <p>2-4：2つの対象地域合同の発表会でそれぞれの取組や課題を共有する。</p> <p>活動3. 住民の廃棄物分別・リサイクルに対する意識が高まる</p> <p>3-1：C/P、W/Tと共に啓発活動の実施計画を立てる。</p> <p>3-2：啓発活動に使用する広報ツールの技術指導を行う。</p> <p>3-3：学生を対象に3Rポスターコンテストを実施する。</p> <p>3-4：歌による3R啓発活動を実施する。</p> <p>3-5：プロジェクトの進捗状況を知らせる事業ポスターの掲示、学生の3Rポスターを載せたリサイクル物回収カレンダーを住民に配布する。</p> <p>3-6：分別・リサイクル方法や意義について教える研修を行う。</p>
8. 実施期間	（西暦）2018年8月～2022年2月（3年6ヵ月）
9. 事業費概算額	44,263千円
10. 事業の実施体制	【日本側】公益財団法人環境技術移転センター、三重県【現地側】公共事業局（BPW）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	三重県
2. 活動内容	パラオ共和国と1996年7月に友好提携を締結して以来、同国からの研修員受入や三重県からの教員・技術員の派遣等を実施。2021年に友好提携25周年を迎え、「みえ国際展開に関する基本方針」（2013年策定）に沿った親密な関係を築いている。